

中国古典文化講座

2025

11/29 土

「中国文化の継承と発展」シリーズ④

明朝と上杉景勝

—武官任命通知書の授与と伝来—

講師 | 大野 晃嗣 氏 (東北大学大学院文学研究科教授)

日時 | 2025年11月29日 (土) 13:00~14:30 (12:30~受付開始)

場所 | 立命館孔子学院講義室 (国際平和ミュージアム 3 階)
+ オンラインライブ配信

講座 概要

山形県米沢市に所在する上杉神社には、明朝から上杉景勝に贈られた「兵部劄付」および「明服」が伝来している。16世紀末、豊臣秀吉によって朝鮮侵略（いわゆる「壬辰戦争」）が引き起こされたが、その一時停戦期間に明朝と豊臣政権との間で和平交渉がもたれた。その際、明朝は豊臣秀吉を「日本国王」に冊封しようとし、合わせてその配下の有力武将たちにも明朝の武官職を与えることとした。多くの武将に兵部劄付と明服が授与されたことが先行研究によって明らかにされているが、現在それらがそろった状態で残っているのは、上杉神社所蔵の景勝受贈品のみである。

本講演では、これらの伝来品のうち、特に「兵部劄付」と呼ばれる武官任命書に注目し、その内容とともにこの史料が持つ歴史的価値について紹介するものである。

講師 紹介

2020年4月 - 現在東北大学、大学院文学研究科、教授 (東洋史)
2009年4月 - 2019年3月東北大学、大学院文学研究科、准教授
2004年10月 - 2009年3月東北大学、大学院文学研究科、講師
2004年3月京都大学、歴史・人類学研究科 博士号取得

参加無料・事前申込制

※お申込みはQRコードまたはホームページからお申込みください。

